

北部白山登山道に関するアンケート調査結果

平成 3 年 3 月

石川県白山自然保護センター

目 次

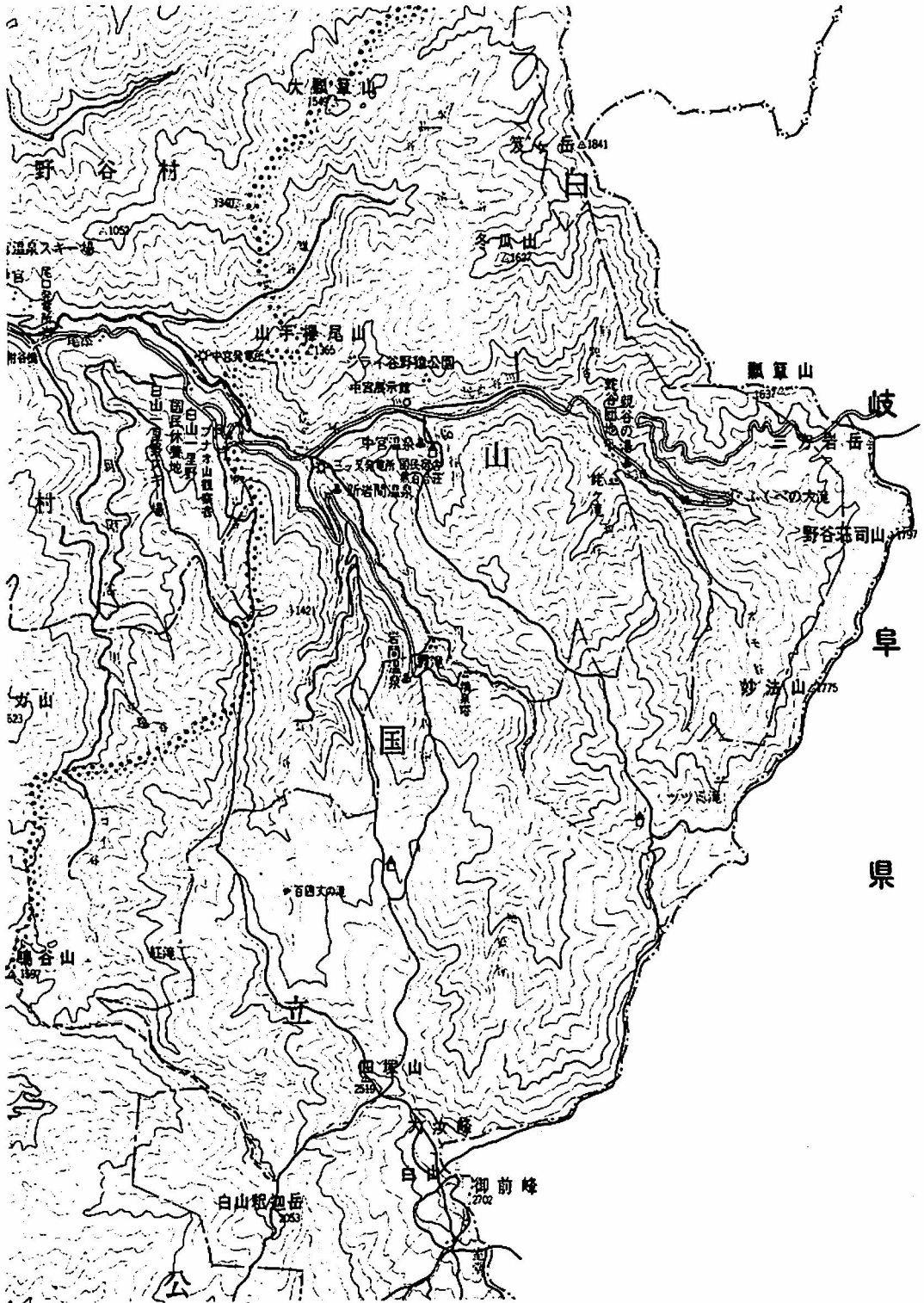
1. まえがき	1
北部白山の図	2
2. 北部白山登山道の利用現況	3
北部白山登山アンケート調査	4
3. アンケート調査方法	5
4. アンケートの結果	6
5. あとがき	21

1 . ま え が き

白山国立公園は、ブナの原生林や西南限分布にあたる高山植生の存在、そして歴史的な信仰の山にふさわしい登山形態などが高く評価されてきた。同時に白山の自然保護に対する一般の関心が深まり、国立公園らしい利用の要求が高まっている。

このアンケート調査は、北部白山山岳地域の利用と保護に関する将来的な方向づけを検討するための資料を得ることを目的として行ったものである。

北部白山の図



2. 北部白山登山道の利用現況

ここで言う北部白山登山道とは、加賀禅定道、楽々新道、岩間道、中宮道、北縦走路の5路線である。

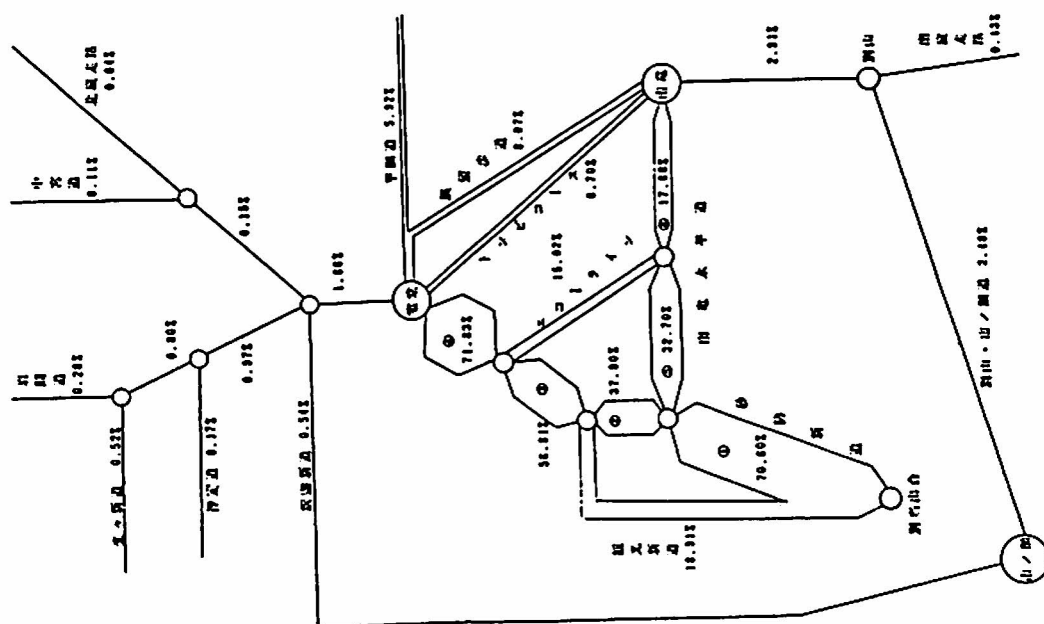
北部白山登山道の利用現況は、白山登山の入り込み調査を実施した昭和62・63年の2ヶ年の結果から、登山利用者の1%程の370人前後の利用である。

北部白山の推定登山者数

年度	利用者数	利用率	登山者総数
62	381人	1.12%	34,040人
63	368人	1.12%	32,861人

* 白山国立公園の保護と利用に関する報告書(平成元年3月)による

登山者の流動状況



3. アンケート調査方法

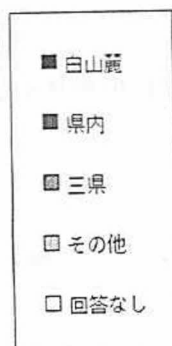
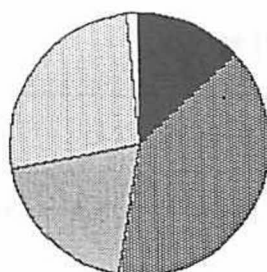
北部白山登山アンケート調査票を500部作成し、自己記入方式で行った。原則として登山口及び室堂で、登山者に対して記入してもらったが、一部北部白山登山道（今後登山道と呼ぶ）を過去に利用したことのある白山麓の人に対して調査を行ない記入してもらったものもある。

回収結果は350部であった。

地域構成の白山麓とは、鶴来町・河内村・鳥越村・吉野谷村・尾口村・白峰村の1町5村であり、県内は前記以外の市町村を表わす。三県は富山県・福井県・岐阜県をいう。その他とは前記以外の都道府県を表わす。

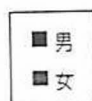
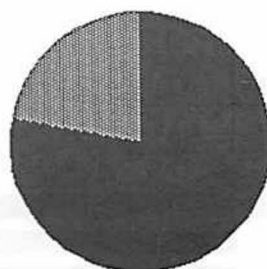
ア. 地域構成

地域	人数	比率
白山麓	47	13.34
県内	138	39.43
三県	68	19.43
その他	93	26.57
回答なし	4	1.14
計	350	100



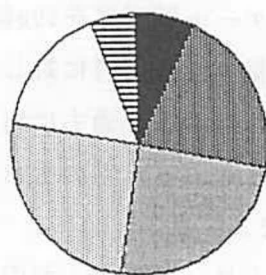
イ. 性別

性別	人数	比率
男	274	78.29
女	76	21.71
計	350	100



ウ. 年齢構成

年齢	人数	比率
19才以下	26	7.43
20代	73	20.86
30代	85	24.29
40代	89	25.43
50代	56	16.00
60代	20	5.71
70代	0	0
80才以上	0	0
回答なし	1	0.29
計	350	100



■ 19才以下
 ■ 20代
 ■ 30代
 ■ 40代
 □ 50代
 ■ 60代
 ■ 回答なし

4. アンケートの結果

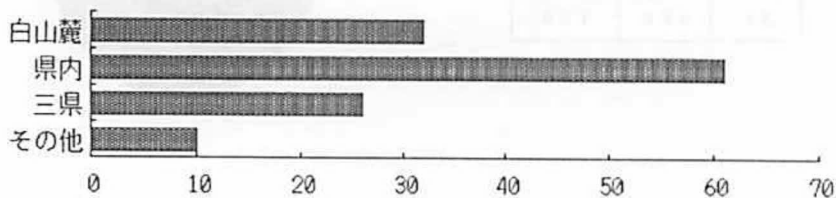
①北部登山の有無

回答	ある	なし	計
人数	129人	221人	350人

登山経験のある人129名の回答をのせる。

ア. 利用者の地域構成

地域	人数
白山麓	32
県内	61
三県	26
その他	10
計	129



② 登山者の利用回数

ア. 利用者の登山回数

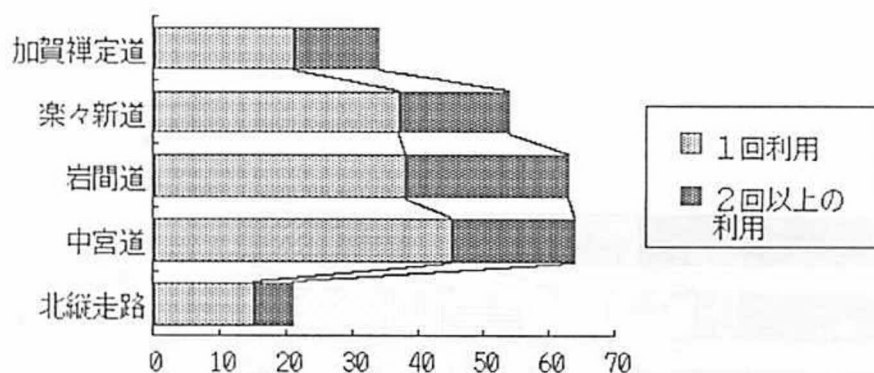
(単位：人)

回数	1回	2回以上	計
登山者数	62	67	129

イ. 路線別利用回数

(単位：人)

路線名	1回	2回以上	計
加賀禅定道	21	13	34
楽々新道	37	17	54
岩間道	38	25	63
中宮道	45	19	64
北縦走路	15	6	21



利用者数では、中宮道、岩間道、楽々新道の順となり、加賀禅定道と北縦走路は少ない。

但し、加賀禅定道は昭和62年に開設されまだ日が浅いので利用度は高いと見込まれる。

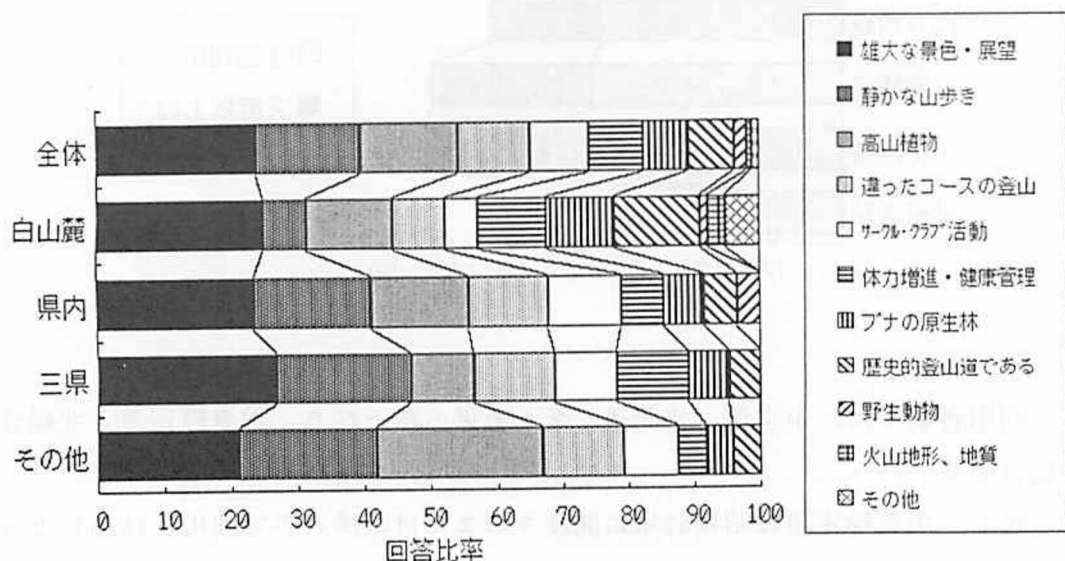
③登山の目的

利用目的については、雄大な景色・展望と回答した人が最も多く、次に混雑を避けての山歩き、高山植物の観察を理由にあげる人が多かった。

その他、地域別・年齢別に特色がみられたので表にしてみた。

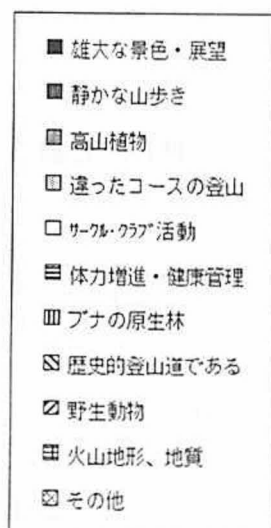
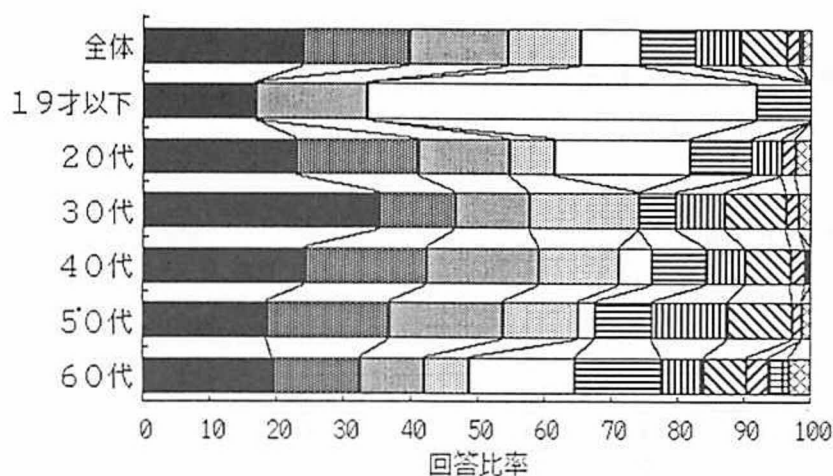
地域別

回答項目	全体		白山麓		県内		三県		その他	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
雄大な景色・展望	74	23.72	19	24.68	33	22.45	17	26.56	5	20.83
静かな山歩きが出来る	49	15.71	5	6.49	26	17.69	13	20.31	5	20.83
高山植物	46	14.74	10	12.99	24	16.33	6	9.38	6	25.00
いつもと違ったコース	34	10.90	6	7.79	17	11.56	8	12.50	3	12.50
サークル・クラブ活動	28	8.97	4	5.19	16	10.88	6	9.38	2	8.33
体力増進・健康管理	26	8.33	8	10.39	10	6.80	7	10.94	1	4.17
ブナの原生林	22	7.05	8	10.39	9	6.12	4	6.25	1	4.17
歴史的な登山道だから	21	6.73	10	12.99	7	4.76	3	4.69	1	4.17
野生動物に出会う	6	1.92	1	1.30	5	3.40	0	0	0	0
火山地形・地質	2	0.64	2	2.60	0	0	0	0	0	0
その他	4	1.28	4	5.19	0	0	0	0	0	0
計	312	100	77	100	147	100	64	100	24	100



年齢別

回答項目	全体		19才以下		20代		30代		40代		50代		60代	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
雄大な景色・展望	74	23.72	2	16.67	10	22.73	19	32.20	24	24.00	13	18.31	6	23.08
静かな山歩きが出来る	49	15.71	0	0	8	18.18	6	10.17	18	18.00	13	18.31	4	15.38
高山植物	46	14.74	2	16.67	6	13.64	6	10.17	17	17.00	12	16.90	3	11.54
いつもと違ったコース	34	10.90	0	0	3	6.82	9	15.25	12	12.00	8	11.27	2	7.69
サークル・クラブ活動	28	8.97	7	58.33	9	20.45	5	8.47	5	5.00	2	2.82	0	0
体力増進・健康管理	26	8.33	1	8.33	4	9.09	3	5.09	8	8.00	6	8.45	4	15.38
ブナの原生林	22	7.05	0	0	2	4.55	4	6.78	6	6.00	8	11.27	2	7.69
歴史的な登山道だから	21	6.73	0	0	0	0	5	8.47	7	7.00	7	9.86	2	7.69
野生動物に出会う	6	1.92	0	0	1	2.27	1	1.69	2	2.00	1	1.41	1	3.85
火山地形・地質	2	0.64	0	0	0	0	0	0	1	1.00	0	0	1	3.85
その他	4	1.28	0	0	1	2.27	1	1.69	0	0	1	1.41	1	3.85
計	312	100	12	100	44	100	59	100	100	100	71	100	26	100



地域別では、白山麓は雄大な景色・展望が圧倒的に多く、県内は全体の平均と同じである。三県は高山植物が少なく、その他は高山植物を目的とした人が多いことが、特色としてあげられる。

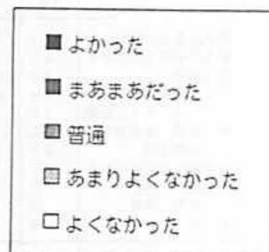
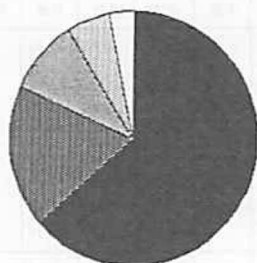
年齢別では、若年層（20代以下）のサークル・クラブ活動を目的とするものが多く、他の年齢層と比べてきわだった特色である。その他30代、40代では雄大な景色・展望が多く、50代では、ブナの原生林を見ると答えた人が、他に比べて多かった。

④登山の印象

a. 登山の感想

(回答者数：126人)

感想	人数	比率
よかった	80	63.49
まあまあだった	23	18.25
普通	12	9.52
あまりよくなかった	7	5.56
よくなかった	4	3.17
計	126	100



登山道の感想については、よかったとするものが60%を越え、まあまあよかったとするものを含めると80%を越える。良い印象をもった人が高い割合を占めた。

b. 良かった点、悪かった点について

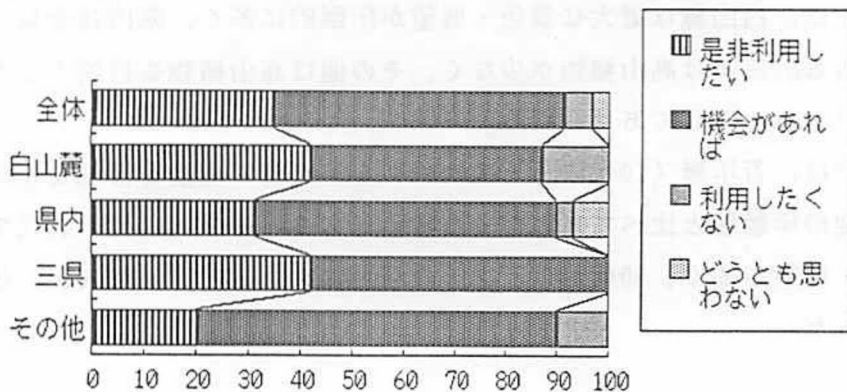
意見は最後にまとめた。

c. 今後も利用したいですか

地域別

(有効回答者数：124人)

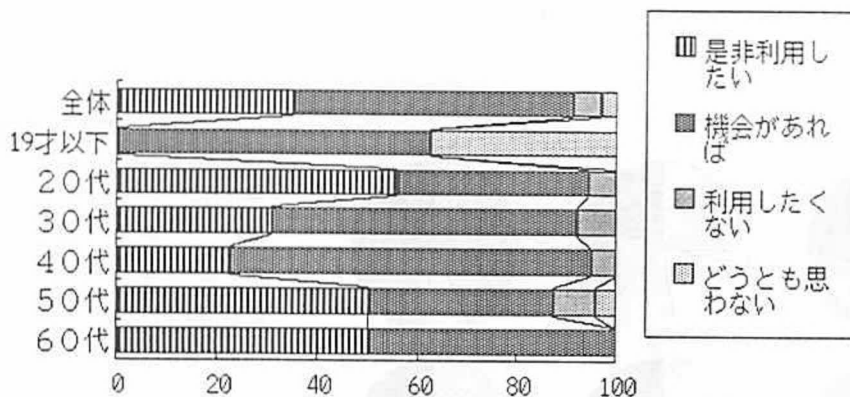
回答項目	全体		白山麓		県内		三県		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
是非利用したい	43	34.68	13	41.94	18	31.03	10	41.67	2	20.00
機会があれば利用したい	70	56.45	14	45.16	35	60.34	14	58.33	7	70.00
利用したくない	7	5.65	4	12.90	2	3.45	0	0	1	10.00
どうとも思わない	4	3.23	0	0	4	6.90	0	0	0	0
計	124	100	31	100	59	100	24	100	10	100



年齢別

(有効回答者数：124人)

回答項目	全体		19才以下		20代		30代		40代		50代		60代	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
是非利用したい	4	3.23	0	0	1	5.56	8	30.77	9	22.50	12	50.00	4	50.00
機会があれば利用したい	7	5.65	5	62.50	7	38.89	16	61.54	29	72.50	9	37.50	4	50.00
利用したくない	7	5.65	0	0	1	5.56	2	7.69	2	5.00	2	8.33	0	0
どうとも思わない	4	3.23	3	37.50	0	0	0	0	0	0	1	4.17	0	0
計	124	100	8	100	18	100	26	100	40	100	24	100	8	100



今後利用したいですかの質問に対しては、利用したいと回答した人が90%を越えた。

地域別では、満遍なく同じように、利用したいという回答が多かった。

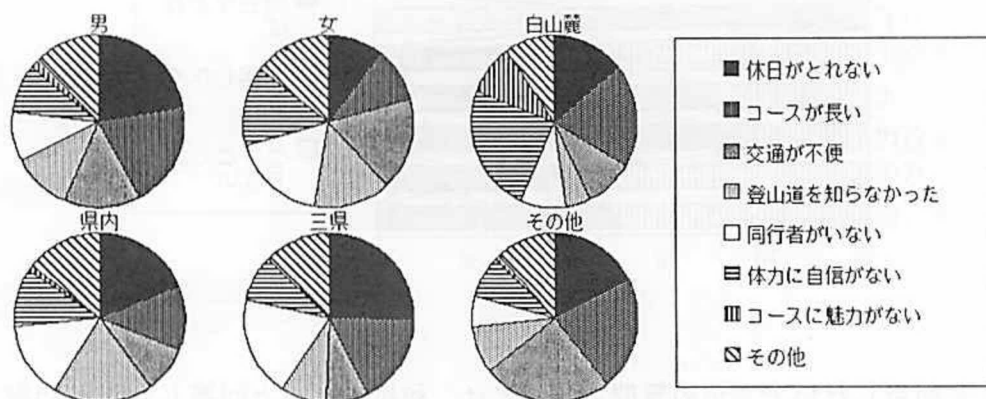
年齢別では、19才以下でのみ、利用に消極的な回答が多い。これはサークル・クラブ活動の一環で利用され、自分の意志としての登山でないためと思われる。

その他の年齢層は利用したいという回答が多かった。

⑤ これまでに登山道を利用したことの無い人の理由

登山経験のない人221名の回答である。

回答項目	全体		男		女		白山麓		県内		三県		その他	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
休日がとれなかった	50	19.23	43	22.40	7	10.29	3	14.29	17	19.89	12	25.53	18	17.65
コースが長い	45	17.31	38	19.79	7	10.29	4	19.05	11	12.22	8	17.02	22	21.57
交通が不便	40	15.38	28	14.58	12	17.65	2	9.52	8	8.89	4	8.51	26	25.49
登山道を知らなかった	31	11.92	21	10.94	10	14.71	1	4.76	17	18.89	4	8.51	9	8.82
同行者がいなかった	30	11.54	18	9.38	12	17.65	2	9.52	13	14.44	9	19.15	6	5.88
体力に自信がない	27	10.38	17	8.85	10	14.71	5	23.81	10	11.11	4	8.51	8	7.84
コースに魅力がない	4	1.54	4	2.08	0	0	2	9.52	1	1.11	0	0	1	0.98
その他	33	12.69	23	11.98	10	14.71	2	9.52	13	14.44	6	12.77	12	11.76
計	260	100	192	100	68	100	21	100	90	100	47	100	102	100



利用しなかった理由としては、利用するだけの休日（日数）がとれなかったことと、コースが長いことが多かった。これは、男子の理由でもある。

女子では同行者がいないことと、体力に自信がないが多く、距離の長さが利用されなかった理由である。

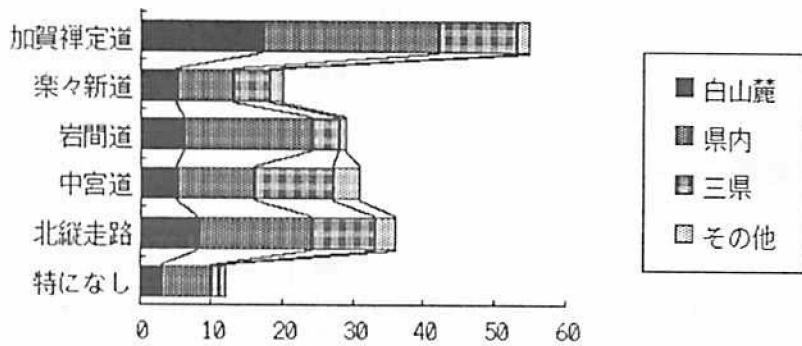
地域別でみると、白山麓は体力に自信がないが多く、県内及び三県では、休日がとれないことと同行者がいないことが多かった。その他では交通の不便さ、コースが長い、休日がとれないことが多かった。地域別に理由がはっきり別れている。

⑥ 今後利用してみたい登山道

ア. 利用経験あり

(単位：人)

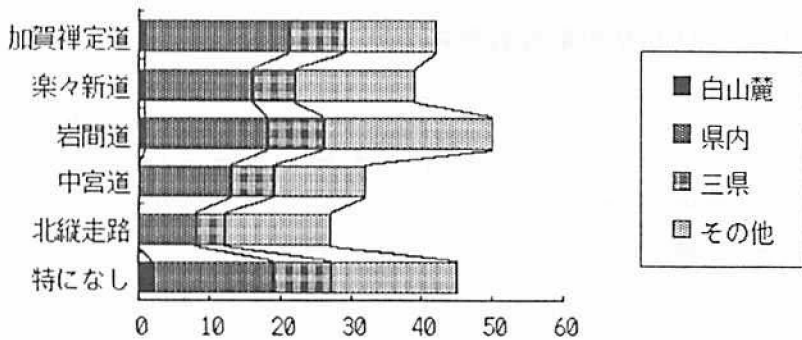
路線名	白山麓	県内	三県	その他	合計
加賀禅定道	17	26	11	2	56
楽々新道	5	8	5	2	20
岩間道	6	18	4	1	29
中宮道	5	11	11	4	31
北縦走路	8	17	9	3	37
特になし	3	7	1	1	12



イ. 利用経験なし

(単位：人)

路線名	白山麓	県内	三県	その他	合計
加賀禅定道	4	20	8	13	45
楽々新道	1	15	6	17	39
岩間道	3	18	8	24	53
中宮道	0	13	6	13	32
北縦走路	0	8	4	15	27
特になし	8	17	8	18	51



利用経験ありと回答した人では、距離の長い登山道を利用したいとする希望者が多く、利用経験なしと答えた人では距離の短い登山道を利用したいとする希望者が多かった。

但し、開設後間もない加賀禅定道については、登山経験のある、なしにかかわらず今後の利用を望む人が多かった。

⑦登山道の施設

各施設ごとの実態についてどの程度知られているのかを調査したものである。登山道の利用経験のある、なしの人に分けて調査してみた。

下の表は利用経験あり129人と、なし221人のうちそれぞれについて知っている人と答えた人の数である。

a. 避難小屋について

(単位：人)

路線名 (避難小屋名)	全体		白山麓		県内		三県		その他	
	登山有	登山無	登山有	登山無	登山有	登山無	登山有	登山無	登山有	登山無
加賀禅定道(奥長台)	52	26	21	3	23	7	7	6	1	10
薬々新道(小坂平)	55	18	16	2	26	8	9	5	4	3
中宮道(上ノ平・下ノ平)	62	23	20	3	29	8	10	3	3	9

b. 道標・水飲場などの整備について

(単位：人)

路線名	全体		白山麓		県内		三県		その他	
	登山有	登山無	登山有	登山無	登山有	登山無	登山有	登山無	登山有	登山無
加賀禅定道	31	14	16	2	12	2	3	3	0	7
薬々新道	25	4	6	1	13	1	3	1	3	1
岩間道	24	7	7	1	12	2	5	2	0	2
中宮道	38	10	12	1	18	2	7	2	1	5
北縦走路	10	5	4	0	3	2	2	1	1	2

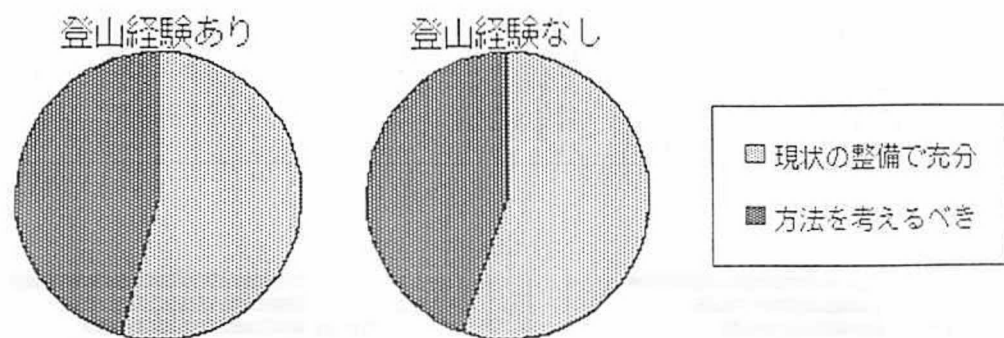
c. 補修や草刈りの維持管理について

(単位：人)

路線名	全体		白山麓		県内		三県		その他	
	登山有	登山無	登山有	登山無	登山有	登山無	登山有	登山無	登山有	登山無
加賀禅定道	33	16	17	2	13	3	2	4	1	7
薬々新道	27	5	12	1	11	1	3	2	1	1
岩間道	24	5	12	1	9	2	2	1	1	1
中宮道	32	6	17	3	10	0	3	1	2	2
北縦走路	12	3	6	0	3	2	2	0	1	1

全回答者数のうち経験なしでも避難小屋や水飲場があることを知っているのは、パンフレット等の情報提供がうまくなされている証拠である。

⑧今後の整備について



具体的意見は最後にまとめたのせた。

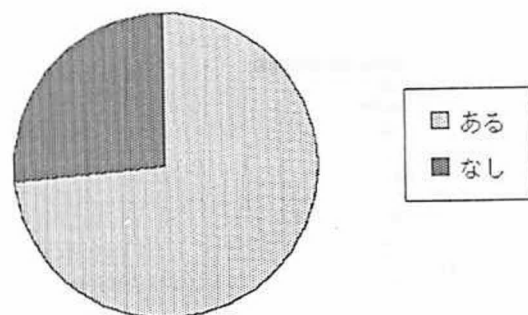
⑨登山道全般についての意見

最後にまとめたのせた。

⑩山麓の観光施設の利用状況

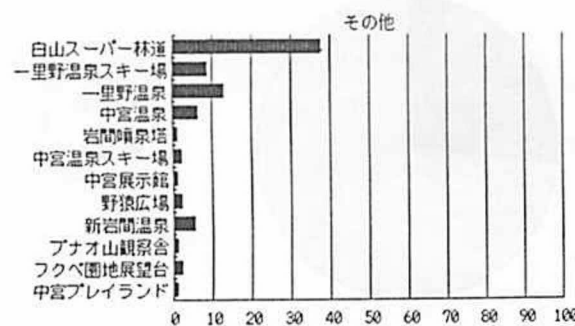
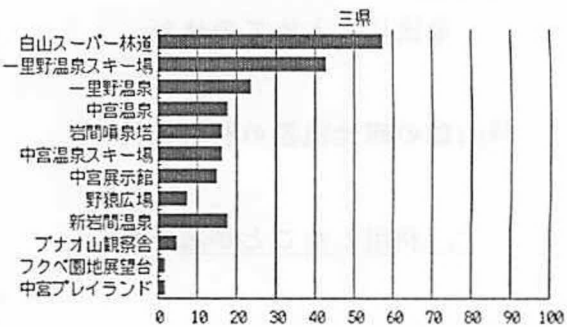
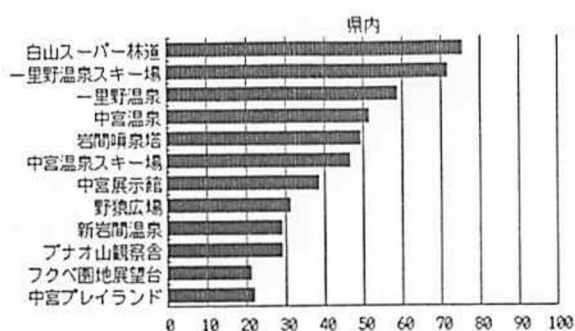
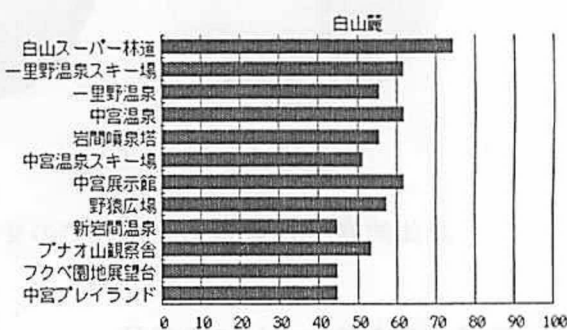
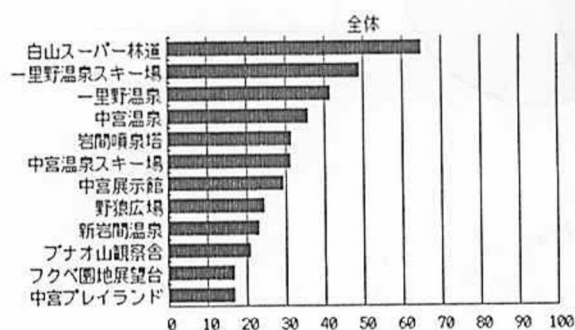
ア. 利用したことがあるか

ある	258人	73.71%
なし	92人	26.29%
計	350人	100.0%



イ. 利用したことのある人の内訳

施設名	全体 (350人)		白山麓 (47人)		県内 (138人)		三県 (68人)		その他 (93人)	
	利用人数	利用率	利用人数	利用率	利用人数	利用率	利用人数	利用率	利用人数	利用率
白山スーパー林道	227	64.86	35	74.47	104	75.36	39	57.35	35	37.63
一里野温泉スキー場	171	48.86	29	61.70	99	71.74	29	42.65	8	8.60
一里野温泉	145	41.43	26	55.32	81	58.70	16	23.53	12	12.90
中宮温泉	125	35.71	29	61.70	71	51.45	12	17.65	6	6.45
岩間噴泉塔	110	31.42	26	55.32	68	49.28	11	16.18	1	1.08
中宮温泉スキー場	109	31.14	24	51.06	64	46.28	11	16.18	2	2.15
中宮展示館	102	29.14	29	61.70	53	38.41	10	14.71	1	1.08
野狼広場	85	24.29	27	57.44	43	31.16	5	7.35	2	2.15
新岩間温泉	80	22.86	21	44.68	40	28.99	12	17.65	5	5.38
ブナオ山観察舎	73	20.86	25	53.19	40	28.99	3	4.41	1	1.08
フクベ園地展望台	58	16.57	21	44.68	29	21.01	1	1.47	2	2.15
中宮プレイランド	58	16.57	21	44.68	30	21.74	1	1.47	1	1.08



④登山の印象

b. 良かった点、悪かった点についての意見

良かった点

- ・いつもの白山と違った風景がみられた。
- ・自然が沢山残っていた。
- ・標識がしっかりしている。
- ・ゴミが少ない。
- ・静かによかった。
- ・歴史があって道もまですまだった。
- ・夏だというのに静かな山歩きが楽しめ自然を体験できた。
- ・北縦走路のお花、地獄谷、三方崩れの展望。
- ・火の御子峰の景観。
- ・北竜ヶ馬場の花がよかった。
- ・高山植物がよかった。
- ・野生動物が大変多い。
- ・静かな原生林を歩くことが出来た。
- ・空気がおいしい。
- ・避難小屋からの展望がよい。
- ・登山道が良く整備されている。
- ・大自然が手つかずに残っていて開発されていない。
- ・小桜平の湿原がよかった。
- ・避難小屋が整備されている。
- ・室堂から岩間までの長い距離をゆったり歩けた。
- ・自然にじかに触れることが出来た。
- ・人に会わずに自分の登山が出来た。

悪かった点

- ・ 標識や案内板が少なく判りにくい。
- ・ 道が悪く危険である。
- ・ 丸太階段が壊れている。
- ・ 登山道を整備してほしい。
- ・ 山へはいるときのマナーを守るべきだ。
- ・ 管理人のいる山小屋がほしい。
- ・ 山道は歩きやすいが休む施設や水飲場が少なく距離が長すぎる。体力のある人しか登山が出来ないと思うのでもっと沢山の人に見てもらいたい。
- ・ 水飲場が少ない。
- ・ 小桜平避難小屋がきたない。（平成2年度補修工事を施工した）
- ・ 岩間ヒュッテが壊され、露天風呂の楽しみがなくなった。
- ・ 岩間、中宮道は長すぎる。
- ・ キャンプ指定地整備なし。
- ・ 中継避難小屋が少ない。
- ・ スーパー林道は不用。
- ・ 道が長く歩く時間がかかった。
- ・ バスの便がよくない。

⑧今後の整備についての意見

- ・PRやパンフレットのソフト面の充実。
- ・駐車場や案内板のハードな面の充実。
- ・草刈りをもっと早くする。
- ・登った所に下山しなくても、他のコースを利用できるようにルート起点ごとの巡回のシャトルバス。
- ・自然を守り好きな人のみが利用できれば最高。
- ・加賀禅定道の途中、奥長倉まで車で登れるように。
- ・より多くの人に見てもらうためロープウェイかゴンドラ。
- ・子供から老人まで登山できるように登山道を改良する。
- ・要所要所に展望台の設置。
- ・管理のいきとどいた山小屋が数ヶ所欲しい。
- ・営業小屋の設置。
- ・キャンプ場。
- ・道が多く管理が充分できていないので道を減らし管理を充実させる。
- ・道標は年最低2回は整備のため巡回して欲しい。
- ・交通の便を考えるべき。
- ・宿泊施設を作る。
- ・白山は自然のままに開発はしない。
- ・夏期以外のアプローチをもっと楽にしてほしい。
- ・岩間道は交通の便がない。
- ・登山道は1本あればよい。
- ・登山道入口へのアプローチを判りやすく。
- ・7～9月頃まで売店がほしい。
- ・道路を有料にして日帰りできるよう交通を便利にしてほしい。
- ・自然が破壊されないよう環境問題を考慮するべき。

⑨登山道全般についての意見

- ・自然を破壊する開発は不要。山の好きな人は長くても自分の足で歩いて行く。
- ・室堂から南部は観光化されているので北部は今のままで残して欲しい。
- ・一般の登山者むきでない。
- ・登山口に駐車場を設置して欲しい。
- ・ガイド付きの登山日を作る（ツアーのようなもの）。
- ・南部より道が長く時間がかかるから利用者が少ないと思うので整備は税金の無駄使いになる。
- ・中宮道と加賀禅定道の2本でよい。
- ・危険箇所の表示が必要。
- ・観光施設として山を考えないで子孫に残したい。
- ・5kmごとに避難小屋と水飲場を設置する。
- ・石川県がもっと白山に金をつぎこむべきだ。
- ・急な道（美女坂）がゆるやかになればよい。

5. あとがき

北部白山地域は、スーパー林道への大型バスの乗り入れや、施設の増加などによって、温泉やレジャー施設等の利用者が増加している。しかし、北部登山道の利用については、歩道・標識・避難小屋等の整備が行われているにもかかわらずその利用者数にはあまり変化は見られない。その理由として登頂型の登山者が多く、所要時間の長いコースが避けられることが改めて確認された。このコースは、道中優れた景観や多くの動植物にふれられる自然の豊かなところであるとともに、史跡もあって山岳信仰の面影を偲べるところでもある。

今後の利用者の増加を図る手だてとして、この登山道途中の自然や文化をどのように紹介していくかを考える必要を感じる。アンケートは登山道の利用目的や道中の施設についての考え方も質問した。これらの回答から、登山者のニーズを探り、登山の有り方についても考え、登山道周辺の将来的な保護と利用の方向付けを得たいと考える。